

平成19年度アウトソーシングアクションプラン 個別業務シート

様式2

【 郵局名 観 光 部 】

1 アウトソーシングする業務	
(1) 業務名	高知県おもてなし県民会議運営業務
(2) 業務の概要 (100文字以内)	本県観光に必要なおもてなしの心を提案し、練り上げ、提案者自らが責任を持って行動できる各関係機関・業界団体・民間企業の実務者や県民代表などで組織する高知県おもてなし県民会議を運営する。 県民会議で協議した内容をもとに「おもてなしアクションプラン」を作成のうえ、県民運動につなげていく土台作りを行う。
(3) 予算化の時期(予定)	9月補正
(4) 発注時期(予定)	10月頃
(5) 委託期間(予定)	平成19年10月～平成20年3月
(6) 担当課室 担当者	おもてなし課 担当者:山中雅也
(7) 想定する委託先	企画会社
(8) 想定する契約方法	随意契約(プロポーザル)
(9) 想定するアウトソーシング人役	0.85人役
2 アウトソーシングする理由(何のためにどんな役割をアウトソーシングするのか)	
<p>県が観光関係団体や県民などから実務者レベルの人々を選定し、おもてなし県民会議を立上げる。立上げ後、民間の発想やアイデアをもって県民会議を運営できる業者にアウトソーシングをし、民間の視点やノウハウを取り入れて県民会議の運営や協議内容のまとめを行ってもらう。これにより、より活発な議論が行なわれ、効果的で実効性の高い「おもてなしアクションプラン」づくりにつながることを期待される。</p> <p>また、アクションプランの提案者となる委員は自らが責任をもって行動する仕組みとし、各提案者が行動することで関係団体、関係機関、地域などへの影響も大きく、県内各地域でのおもてなしの心をもった観光の底上げが図られ、県外観光客に対するサービス向上に繋がる。</p>	
3 アウトソーシングの効果として重視しているもの	
(1) 県民サービスの質の向上	民間の視点やノウハウを取り入れて県民会議を運営していただくことで、より活発な議論が行なわれ、効果的で実効性の高い「おもてなしアクションプラン」づくりにつながることを期待される。
(2) 民間との協働による人材育成、雇用の創出	
(3) 県民の参画、地域の活性化	
(4) その他	